

## 滑川西地区の主な提言等と回答要旨

提言等の項目	H25秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
滑川高校	海洋高校は韓国の仁川高校と姉妹校となっていたが、滑川高校との合併後はどうなったか。ぜひ関係を発展させてほしい。また、滑川高校にはすばらしい人材や実績がある。地元滑川高校と市の関係も密になればよいと思う。	両校の関係は現在もとても緊密だと聞いています。市としましても、今後も良い関係を築いていってほしいと考えています。市のイベント等の際に滑川高校が製造したサバの缶詰を販売してもらっていますが、とても人気が高く、最近ではその缶詰を市の給食のカレーに利用する試みを実施しました。今後も滑川高校と協力していきたいと考えています。
空き家対策	危険な状態の空き家など、問題のある家はほとんど所有者が県外の人で、町内で個々にあたるのは限界がある。市側もいろいろな制約があることと思うが、今後も空き家は増えていくことは間違いないため、なんとかしなければならぬ。地区を絞って調査するなど、町内会と一体となって進めていく必要があると思う。	現在の対応としましては、危険な空き家等の情報が寄せられた際には、すぐに現地を確認し、所有者に連絡をとっています。しかし、所有者の連絡先が不明な場合や、相続がうまくいっていない場合など、法律上も対応が困難な場合が多々あります。他自治体の取り組みや条例等の研究を進めます。
博物館	博物館は催し物ばかりで、せっかくの素晴らしい化石や昆虫関係の物品が倉庫に眠ったままになっている。自然科学分野への関心や基礎を育てるため、もっと学術的なことを提供する施設にしてほしい。	確かに博物館の展示物については自然科学分野に弱い部分があるかもしれませんが、しかしながら理数教育の重要性は認識しており、理科の授業での理科支援員の配置や、企業の施設見学、博物館や北陸職業能力開発大学校の出前授業などを実施しています。
道路歩道	滑川高校前の道路について、高月側は歩道が無い。側溝にフタをして白線を引いたらちゃんとした歩道になるのではないかと。併せて電柱の移設もお願いしたい。	電柱の移設も併せて、可能かどうか検討したいと思います。
防災無線	防災無線が風向きによって聞こえ方が違う。西地区には1カ所しかないため、緊急時に聞こえないと困る。	確かに天候等により聞こえにくい場合があると思います。防災無線は現在アナログ方式ですが、今後デジタル方式に変える時期が来ます。その際に聞こえ方や配置場所等について検討したいと思います。
防災情報	災害情報配信サービスや防災無線、防災ラジオなど、いろいろと情報の伝え方があるが、ちゃんとした使い分けをしないとかえって混乱を招く恐れがある。	ご意見ありがとうございます。情報伝達の使い分けについて整理し、市広報誌に掲載します。
津波	高月東部には避難場所が無く不安である。	この場で即答はできませんが、避難場所のあり方について研究させていただきます。
自主防災組織	自主防災組織の救命胴衣等への助成は県と市のどちらが行っているのか。	県の1/2の補助をもらい、市で助成を行っています。来年度も助成を続けたいと考えています。
水源地保護条例	水源地保護条例について、滑川市はどうなっているか。魚津とも協議して進めていってほしい。	水源地について、県に申請を行ったところです。魚津とも協議しながら進めています。